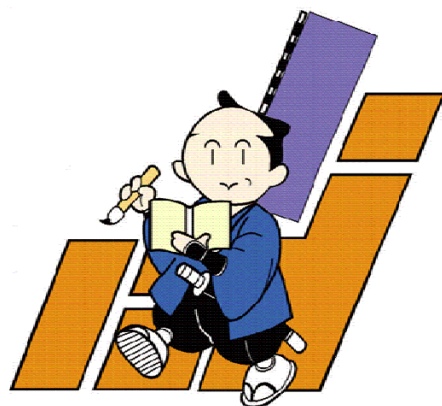


いのうただたかきねんかん 伊能忠敬記念館だより No. 7

お知らせ

伊能忠敬は、江戸時代に実際に日本を測って正確な地図を作った人ということは、みなさんも知っていると思いますが、忠敬の作った地図は東日本と西日本を比べると詳しくさや正確さ（精度）が違うことは、知っているでしょうか。

記念館では、見学をするみなさん、伊能忠敬について詳しく知りたいみなさんが、もっと楽しく、そして深く学べるように、**新しいワークシート**を用意しました。ワークシートを手にしたみなさんが、ヒントとなるモノやパネルを“**宝探し**”のように館内から探しだし、見つけたヒントから一生懸命考えると、答えがわかるようになっています。ワークシートは何種類もありますので、ぜひ何度も記念館に遊びに来て、全部のワークシートをクリアしてみてください。



（香取市内の小・中・高校生はいつでも無料で入館できます!!）

『クイズ忠敬』に挑戦しよう

(1) 第2次測量は何人で測量しましたか？

- ①6人 ②10人 ③48人

(2) 第2次測量で忠敬は何を調べたかったですか？

- ①北国の春 ②津軽海峡冬景色 ③地球一周の長さ

(3) 新たに加わったメンバーは誰ですか？

- ①前田みなみ ②平山郡蔵 ③高橋敦子

(4) 第2次測量で測量したのは主にどこですか？

- ①東北地方 ②九州地方 ③中部地方

(5) 第2次測量で測量が難しかった海岸はどこですか？

- ①九十九里浜 ②湘南海岸 ③三陸海岸

第2次測量行程表



伊能忠敬物語(7)

蝦夷地(北海道)の測量から帰った忠敬は、次に東日本の測量に取りかかりまし

た。第2次測量では、東北地方から関東地方の太平洋側を測りました。測量隊のメ

ンバーは忠敬を含めて6人で、この測量から平山郡蔵らがメンバーに加わりました。

郡蔵は、現在の多古町中村出身で忠敬の親戚にあたり、とても優秀な弟子となり

ました。この230日約3,120kmにおよぶ旅の中で、忠敬は前々から調べたいと思っ

ていた地球一周の長さを求めることに成功します。ただ、入り組んだ岩場や崖が多

い三陸海岸(こうした海岸をリアス式海岸と言います)では、少ない人数では測量

が難しいため、すべてを測らずに省略したところもありました。

伊能忠敬記念館だより No. 7 発行日 平成23年12月31日

〒287-0003 香取市佐原イ1722-1 電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649

クイズの答え (1)-①、(2)-③、(3)-②、(4)-①、(5)-③